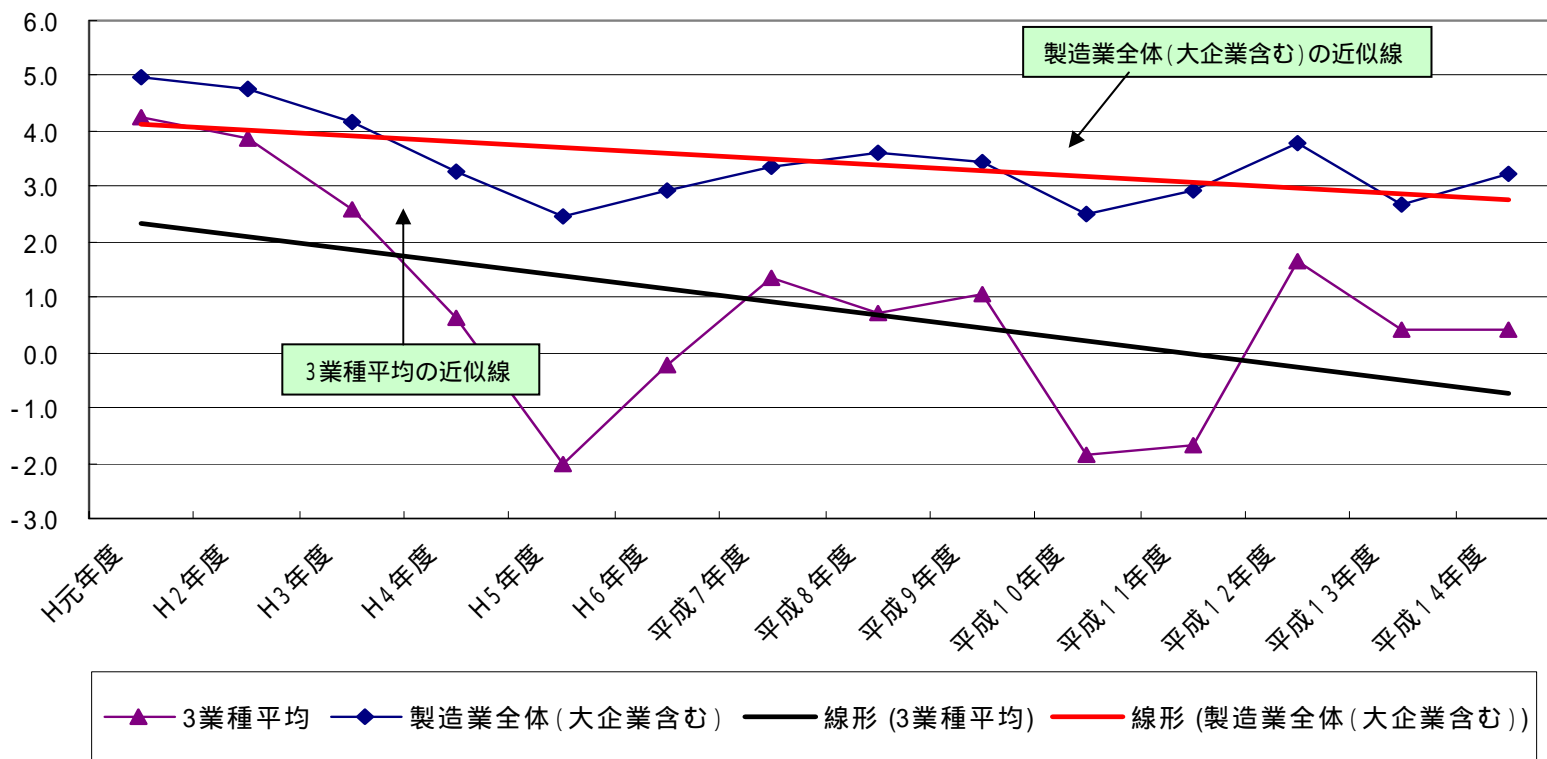


(参考資料1: 基盤技術を担う産業例の売上高対営業利益率)

鑄造(銑鉄鑄物)・鍛造(鍛工)・めっきの3業種平均の売上高対営業利益率は、製造業全体(大企業含む)と比較するとベースが低い上に、直近までの減少幅が大きい。また、利益率がマイナスに落ち込んでいる年度も少なくなく、企業活動維持に困難さが見える。

単位: %

売上高対営業利益率



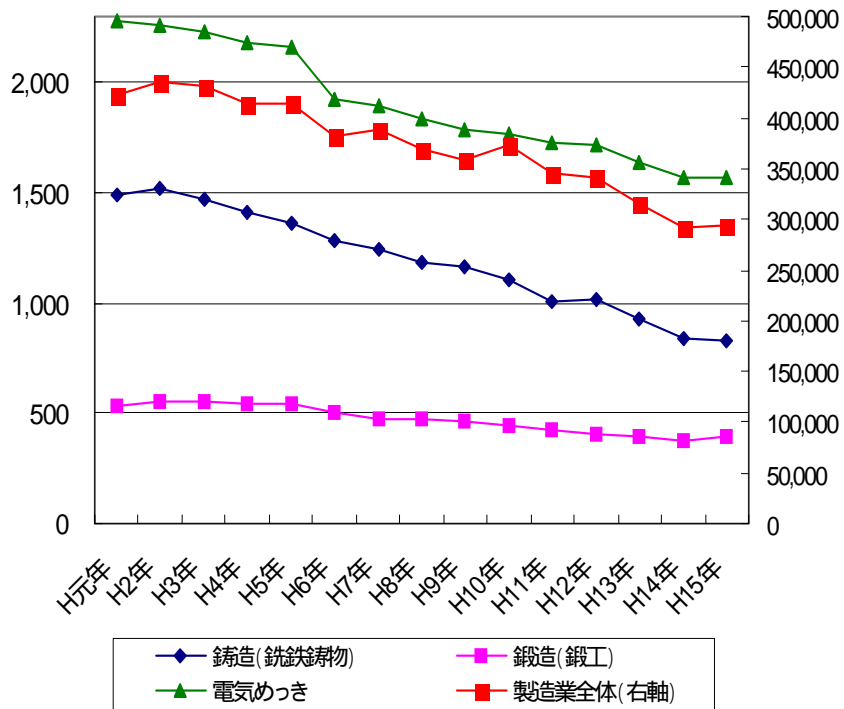
出典: 3業種のデータは「中小企業の経営指標」(年度別データ)、製造業全体(大企業含む)は「法人企業統計」(年別データ)

(参考資料2：基盤技術を担う産業例の従業員数及び事業所数の推移)

鑄造(銑鉄鑄物)・鍛造(鍛工)・電気めっきの従業員数及び事業者数は、減少傾向をたどっている。特に、鑄造(銑鉄鑄物)は平成13年以降、従業員数の減少が顕著。また、平成元年と15年を比較するとその事業所数は半減しており、製造業全体(中小企業のみ)と比較しても減少幅が大きい。また、従業員数についても鑄造(銑鉄鑄物)の減少幅は最も大きく、業界の急速な衰退が懸念される。

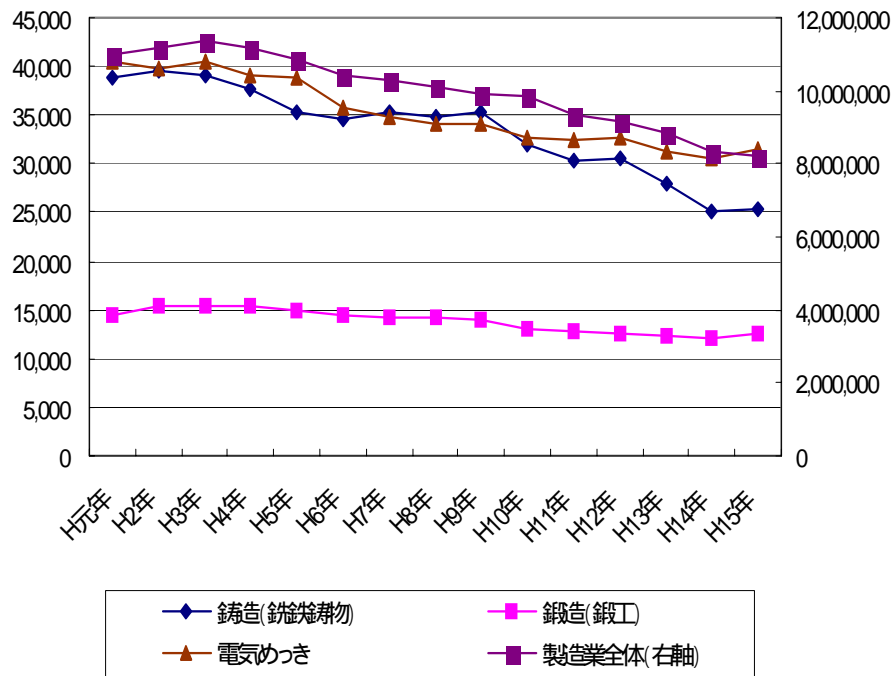
単位: 事業所数

事業所数の推移



単位: 人数

従業員数の推移



出典:「平成15年工業統計(従業者4人以上の事業所)」

(参考資料3：基盤技術を担う産業例の従業員教育費・研究開発費の推移)

<従業員教育費の総原価に占める割合>

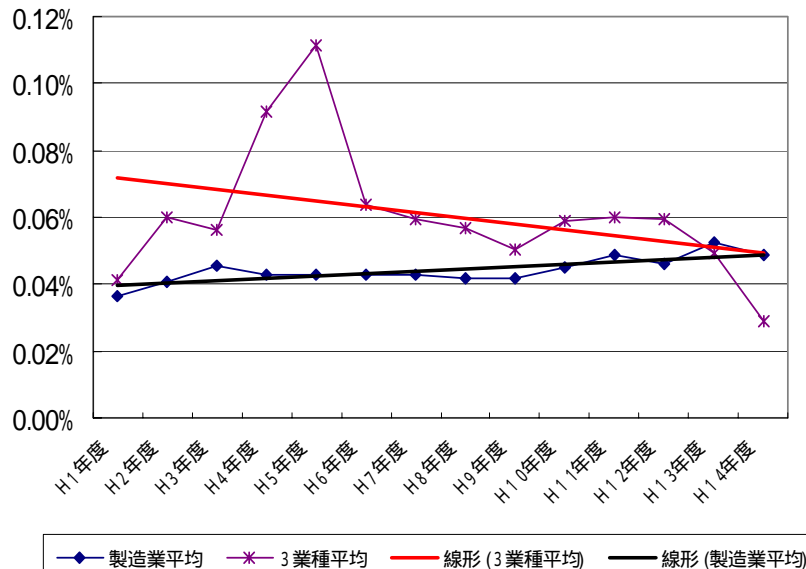
製造業全体(中小企業のみ)においては従業員教育費比率の上昇傾向が続いている一方、鋳造(鋳鉄鋳物)・鍛造(鍛工)・めっきの3業種平均においては、平成元年より一貫して大きく減少しており、人材育成に問題が生じている。

<研究開発費の総原価に占める割合>

製造業全体(中小企業のみ)で大きな伸びが続く一方、3業種平均には殆ど伸びが見られず、技術開発を積極的に行えない状況が見える。

単位：%

従業員教育費の総原価構成比率 推移



単位：%

研究開発費の総原価構成比率の推移

